



第4章 基本的施策と主な取組



- 1 市民主体の文化芸術の振興
- 2 多様な文化芸術の継承と創造
- 3 文化芸術を生かしたまちづくり
- 4 多様な文化交流による NAHA の魅力発信

第4章 基本的施策と主な取組

1 市民主体の文化芸術の振興

■基本的施策

- (1) 市民の文化芸術にふれる機会の充実を図ります
- (2) 市民の文化交流活動を支援します
- (3) 子どもたちの文化芸術活動の充実を図ります
- (4) 沖縄の暮らしに根づく文化を継承します
- (5) 日常生活におけるうちなーぐちの普及を推進します

1-(1) 市民の文化芸術にふれる機会の充実を図ります

■施策概要

市民の自主性を尊重し、市民が文化芸術にふれる機会の充実を図るための環境づくりを進めます。また、市民が主体的に学習・研究・自己啓発活動に取り組める機会の充実を図り、市民主体による文化芸術の振興につながる土壌づくりを推進します。

■主な取組

ア 誰もが文化芸術にふれる機会の充実

誰もが文化芸術を鑑賞または参加し創造することができるような環境整備が必要です。子どもから高齢者、障がいのある方、経済的な状況等にかかわらず、誰もが文化芸術に関心や理解を深め、創造性や自己啓発の醸成につながる機会の充実を図ります。



個性豊かな作品が楽しめる「障がい者美術展」



高齢者の生きがいと健康づくりにつながる「街角ガイド」

イ 文化芸術活動の情報の収集と発信

市内には、公的文化施設のほか、民間主催の小劇場、アートギャラリー、ライブハウスや、文化芸術に関する様々な市民講座などがあります。

文化芸術に関わる施設の活動内容・場所等、市内の文化芸術に関する情報をまとめたポータルサイトの構築など、市民が気軽に文化芸術活動に関わる情報に接する仕組みづくりに取り組みます。

ウ 多様な文化芸術活動の場づくり

「那覇文化芸術劇場なはーと」をはじめとする公的文化施設の有効活用をはじめ、屋内外において、音楽やダンス、工芸・美術などのアートライブや地域の伝統芸能の演舞など、文化芸

術活動の多様な場を提供し、その活動が持続的に行われる環境整備を図ります。また、市民の文化芸術活動に対する支援等、新たな仕組みづくりに取り組みます。

1-(2) 市民の文化交流活動を支援します

■施策概要

文化芸術活動を行う市民や事業者、那覇市文化協会等の文化芸術団体が市内には多く存在しています。文化芸術活動を行う者や団体同士など様々な交流の機会を通して市民の創造性を育み、新たな文化的価値を創造する環境づくりを推進します。

■主な取組

ア 文化芸術に関わる多様な交流の場づくり

文化芸術の創造性をたゆまなく育むには、多くの市民が様々な機会を通して語らい、交流する場が大切です。

文化芸術に関わる市民相互の交流や芸術家同士の交流、さらには市民と芸術家との交流など、自由な発想で対話ができる円卓会議のような市民一人ひとりが主体となる「場」が構築される環境づくりを推進します。

イ 多岐にわたる文化芸術活動に携わる団体間交流の支援

市民の文化芸術活動は、伝統芸能(組踊、歌三線、琉球舞踊等)、空手、伝統工芸(織物、陶器、漆器等)、伝統的な行事、食文化、芸術(文学、音楽、美術、演劇、舞踊等、映画、漫画、アニメーション等のメディア芸術)、芸能、生活文化(茶道、華道、書道等)など多岐にわたります。異なる分野の多様な立場の団体が交流することは、文化芸術に関する多様な創作方法や新たな発想を生み出す場となり、市民同士の文化的な交流が期待されることから、その支援のあり方について検討を進めます。

1-(3) 子どもたちの文化芸術活動の充実を図ります

■施策概要

文化芸術を通して未来を担う子どもたちの豊かな感性や創造性を育み、本市の個性豊かな文化芸術の継承・発展・創造のために、乳幼児・児童・生徒等それぞれの成長過程に応じた文化芸術とふれる多様な機会の創出や文化芸術に関わる施策展開を進めます。

■主な取組

ア 子どもたちが文化芸術にふれる多様な機会の創出

身近な文化や伝統行事に親しみ、異なる文化芸術にふれる活動を通して、人々とのつながりや相互理解の意識などが養われます。優れた文化芸術に幼児期から親しみ、豊かな感性と創造力を育むため、「那覇文化芸術劇場なはーと」のアウトリーチ事業をはじめ、こども演劇祭や映画祭など、文化芸術に対する興味や関心をもつような鑑賞機会や創作・体験の機会の創出や情報発信を含めた環境整備に取り組みます。



工事現場の囲いに絵を描く「アート アラウンド プロジェクト」



熱戦を繰り広げる中学校対抗ハーリー競漕

イ 子どもたちの成長過程に応じた文化芸術に関わる施策展開

子どもたちの成長過程に応じた文化芸術にふれる機会を提供することは、子どもたちの体験を豊かにし、文化芸術に関心や理解を深めることに加えて、文化芸術への継承・発展の意識を育むことにもつながります。子どもたちの文化芸術に関する施策について、より一層の内容の充実や教育委員会をはじめとする関係部署との連携による実施体制の強化に努めます。



組踊「銘苅子」の上演をとおして地域への愛着を育む
(銘苅小学校体育館)



市内の各保育所で行われている「伝統文化継承種まき事業」の成果発表会

1-(4) 沖縄の暮らしに根づく文化を継承します

■ 施策概要

独特な文化的背景をもつ食文化をはじめ、旧暦に基づく文化的慣習では、血縁で組織する門中を中心に行う清明祭、地域が中心に関わる旧盆行事など、暮らしに根づく文化が形式を変えながらも脈々と息づいています。民俗文化を含め、暮らしに根づく文化を現代の暮らしの中で再評価し創意工夫することで、地域のコミュニティづくりに有効に活用します。

■ 主な取組

ア 沖縄の食文化の再評価と普及

沖縄の風土に育まれた食文化は日本本土や中国・東南アジアなどの文化的交流からもたらされ、中国を源泉とする「医食同源」の思想が長寿食につながったと考えられ、健康・長寿食として観光資源としても大きな役割が期待されています。

市内では、戦後途絶えていた在来種の鏡水大根(カガンジデークニ)や繁多川の豆腐の原料の一つである在来種の大豆の青ヒグーの復活など、「農」・「食文化」・「地域」の連携による取組や、学校・こども園・保育所等において、幼少期から地元食材や伝統的料理の文化・歴史的背景を紹介する等、食育推進への取組も見られます。

日常生活における食文化の価値や魅力について再評価を行い、世代間交流や地域コミュニティの活性化につながる取組や、学校給食等を通し、子どもたちが食文化にふれる機会の充実を図ります。また、地元食材や伝統的家庭料理の情報提供など、各々の家庭で可能な取組方法について検討します。



昔ならではの豆腐づくりをとおして、繁多川伝統の味を地域の誇りとして継承している

イ 伝統的行事の再評価

地域に伝わる生活に根差した伝統的行事について、現代に即した視点から、その価値や魅力について再評価を行い、世代間交流や地域コミュニティの活性化につながる取組を進めます。



旧農村地域では旧暦 6 月 25 日頃に綱引きが行われ、住民や地域の事業所総出で綱づくりを行う（真嘉比自治会）



旧暦 8 月 15 日に行われる十五夜は、無病息災や豊年を祈願する地域の祭りとして昔から行われている（宇安謝）

1-(5) 日常生活におけるうちなーぐちの普及を推進します

■施策概要

「うちなーぐち」は沖縄文化の基層であり、地域の伝統行事等で使用される大切な言葉であるとともに、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居などを通して継承されてきました。これまで行政の取組や民間の普及活動を推進してきましたが、「うちなーぐち」が話せる人が減少するなど、普及が進まない現状もあります。「うちなーぐち」の普及・継承の多様な手法が創設されるための環境整備を図ります。

■主な取組

ア うちなーぐちの普及・継承のための効果的な施策展開

うちなーぐち普及・継承のため、これまでの取組に加え、新たな事業展開の検討など、子どもから大人までの多くの市民を対象とした、うちなーぐち普及啓発のための効果的な取組を推進します。

イ 家庭、地域、企業等との連携した「うちなーぐち」の普及・継承

市の広報紙に毎月掲載されている「うちなーぐち」の企画や沖縄県しまくとぅば普及センターが発行する副読本などを活用し、家庭、地域、企業等での会話レッスンや、地域の行事や企業イベントでの活用など、日常生活の中で無理なく実践できる環境整備を図り、持続的な普及・継承に取り組みます。

ウ 文化芸術活動団体と連携した「うちなーぐち」の普及・継承

沖縄の伝統芸能を「うちなーぐち」の普及・継承に活用するため、大学等の専門機関や市内の舞踊研究所等との連携を図り、「うちなーぐち」の新たな普及・継承の手法のあり方について検討を進めます。



歌や踊り、芝居を通して習得する「うちなーぐち講座成果発表会」は舞台上に立つ楽しさも体験できる

2 多様な文化芸術の継承と創造

■基本的施策

- (1) 伝統文化の普及・継承・発展を図ります
- (2) 文化芸術の担い手の育成・支援に取り組めます
- (3) 新たな文化芸術の創造・発信に取り組めます
- (4) 文化資源の保存・継承・活用を図ります
- (5) 文化に関する学術研究等を推進します

2-(1) 伝統文化の普及・継承・発展を図ります

■施策概要

琉球王国時代に由来する那覇の伝統文化は、それぞれの地域特性を織り交ぜながら受け継がれてきました。伝統文化はアイデンティティの醸成や地域のつながりに寄与することから、地域の伝統文化への支援や多様な主体が関わる環境づくりなどの取組を通して、地域に根差した伝統文化の普及・継承・発展を推進します。



組踊で演じる「さるかに合戦」

■主な取組

ア 伝統文化にふれる機会の創出

地域に伝わる誇りある伝統文化を次代へ受け継いでいくためには、より多くの市民が伝統文化の魅力を感じ、その価値を認識することが重要です。

「那覇文化芸術劇場なはーと」や本市の文化施設等での事業展開をはじめ、伝統文化の講座やワークショップの開催等、若い世代など普段なじみのない人が伝統文化に身近にふれる機会の充実を図ります。

イ 地域に受け継がれる伝統文化への支援

地域の伝統文化の保存・継承に取り組む自治会や団体の活動に対する支援をはじめ、公民館でのサークル活動団体が地域祭りや地域年中行事へ積極的に関わる環境づくりなど、貴重な地域の伝統文化を次代へ受け継いでいくための様々な支援のあり方について検討します。



「宇安里のフェーヌシマ」の継承に取り組む那覇青少年舞台プログラム（提供：繁多川公民館）

ウ 学校との連携を通じた伝統文化の普及・継承・発展

伝統文化の普及・継承・発展にあたっては、学校との連携は大きな位置を占めることから、伝統文化の継承を担う活動を行う団体とも連携し、その環境づくりに取り組みます。

エ 地域のシンボル「旗頭」の保存・継承

本市には、那覇大綱挽行列で勇壮に舞う 14 旗の旗頭のほか、各地域にも複数の旗頭があり、村のシンボル、守り神として、古くから地域のていぐま（細工師）によって、村々の繁栄を祈り製作されてきました。今もなお、人と人をつなぐ地域コミュニティに資する文化資源として、大切に継承されている一方、自治会等が中心となって継承されてきましたが、都市化や少子高齢化が著しい地域においては、その継承者や練習場所、保管場所の確保等の課題があります。

本市の文化資源として観光と地域コミュニティに資する旗頭について、関係部署と横断的な連携を図り、各地域と協働による保存、継承に取り組みます。

オ 先人により創造され、受け継がれてきた空手の魅力発信

先人により創造され、受け継がれてきた空手は、厳しい鍛錬を通して強靱な身体と不屈の精神を培うとともに、心を磨き礼節を重んじる「平和の武」として、世界中に 1 億 3 千万人も空手愛好家がいるといわれています。今後、世界中から空手に対する注目が増すことが期待されることから、その魅力を発信する取組を推進します。

カ 魅力ある文化資源の継承

那覇市には、組踊や琉球舞踊等の芸能に欠かせない衣装や小道具、房指輪などで知られる金細工、王都首里で使われた琉球紙、琉球玩具の張り子や木工など様々な魅力ある工芸品・民芸品等があります。現在、後継者がいないなど継承の危機とされながらも、需要があり生産が追い付かない一面もあります。これらの工芸品・民芸品等の魅力を伝えながらも、継承のための新たな取組を検討してまいります。



青少年健全育成を目的とした「やる気・元気旗頭フェスタ in 那覇」



国際通りを空手家の壮大な演武で埋め尽くす「空手の日」



金細工の製作披露（識名園友遊会にて）

2-(2) 文化芸術の担い手の育成・支援に取り組みます

■施策概要

文化芸術の社会的役割が高まるなか、専門的スキルをもつ若手芸術家が創作活動に持続的に取り組むための包括的な環境づくりに注力します。また、様々なジャンルの若手芸術家や団体が交流し、新たな価値を創出するための情報を共有する場づくりなどの環境づくりを進めます。

■主な取組

ア 若手芸術家の発表の機会の創出

若手芸術家に対し、多様な発表の機会を創出し、多くの市民にその存在を身近に感じてもらう、同時に芸術家自身の創造の場となるような環境づくりに取り組みます。

イ 活動の支援と環境整備

国・県との連携事業を含め、企業メセナとの連携など、文化芸術に携わる者に対する新たな活動支援のあり方について検討します。

また、創作活動を通じた児童・生徒等と芸術家との交流や、様々なジャンルの芸術家や団体同士が連携する環境整備に取り組みます。

ウ 芸術家やクリエイター等の交流、情報交換

個々の芸術家やクリエイターなどが交流し情報交換を通して、自由な発想で新たな価値を生み出し、互いに刺激を受け新たな活動の展開が生まれるよう、様々なジャンルの芸術家やクリエイター、団体などが有機的に連携する環境づくりに取り組みます。

エ 「那覇文化芸術劇場なはーと」における人材育成

「那覇文化芸術劇場なはーと」の専門性の高い組織体制を生かし、舞台技術や制作等に関するインターンシップ受け入れやアートマネジメント研修の開催など、文化芸術の人材育成に取り組みます。

2-(3) 新たな文化芸術の創造・発信に取り組みます

■施策概要

「那覇文化芸術劇場なはーと」をはじめ、「パレット市民劇場」、「那覇市民ギャラリー」、「那覇市ぶんかテンプス館」、「那覇市立壺屋焼物博物館」、「那覇市歴史博物館」などを利用し、様々な文化芸術活動が営まれています。また、市内には民間企業所有のホール機能をもつ施設をはじめ、演劇・写真・美術・伝統工芸等を扱う小劇場・ギャラリー・カフェ等の新規開設も相次いでいます。

これらの文化芸術のための施設については、官民間問わず、市民や多様な主体が集い交流し、新たな文化芸術を創造・発信する施設として、連携・役割分担など効果的に利活用できる環境づくりに取り組みます。

■主な取組

ア 「那覇文化芸術劇場なはーと」を中核とした環境づくり

「那覇文化芸術劇場なはーと」の基本方針の 1 つに「文化を創造・発信する」ことを定めています。当施設周辺には、それぞれの特性を生かした文化施設が官民間問わず点在しています。市民や様々なジャンルのアーティストがこれらの文化施設を活用し、継続的に創造性が喚起される「場」として機能する環境づくりを進め、近隣の文化施設等と連携した取組を進めます。



令和3年度に開館する「那覇文化芸術劇場 なはーと」

2-(4) 文化資源の保存・継承・活用を図ります

■施策概要

市内には、琉球王国文化の中核となる「首里城跡」「園比屋武御嶽石門」「玉陵」「識名園」などをはじめ、国宝の「琉球国王尚家関係資料」、「琉球古典音楽」「組踊音楽歌三線」の芸能、「紅型」「首里の織物」の工芸技術等、多くの国指定等文化財があります。

貴重な文化的遺産を後世へ継承するとともに、周辺環境も含めて適切に活用していくための体制づくりを進めます。

■主な取組

ア 継承されてきた有形・無形の文化遺産の保存と後世への継承

市内には指定文化財が179件存在し、指定文化財以外にも首里地域をはじめ、旧那覇、真和志地域、小禄地域には、多くの文化資源が確認されています。文化遺産の保存と後世への継承については、地域の文化財をその周辺環境も含め適切に保存・活用し、人々の交流や住民の地域に対する誇りの向上に努めます。

また、「識名園」や「伊江御殿別邸庭園」などの国指定文化財については保存活用計画の策定を進めていきます。首里城跡等の指定文化財の活用については、「保全活用計画」や識名園の取組を踏まえ、地域やまちづくり市民活動団体などの地域との関係性を重視した活用のあり方について検討を進めます。

イ 学芸員等の専門職の充実

文化財を保存・活用するためには、個々の文化財の調査・研究及び文化財とその周辺の環境整備が必要になります。国宝の「琉球国王尚家関係資料」をはじめとする歴史資料・美術工芸品等については、保存、整理、公開等、継続的な取組を行っております。また、那覇の民俗に関わる調査研究についても継続的に取り組む必要があります。

これらの取組を担う学芸員等、専門職の人材確保に努めます。

ウ 埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物の保管・管理・活用

開発工事等に係る埋蔵文化財の発掘調査等で出土した遺物を収蔵施設において適切に保管・管理するとともに、遺物の調査・研究を行い、その成果をより多くの市民に公開し活用できるように努めます。

エ 地域の文化資源の保存・継承・活用

市民が地域固有の文化を学び、理解することは、地域に対する誇りや愛着を深め、ひいてはアイデンティティの醸成につながります。市民が主体的に、身近な地域の文化資源の保存・継承・活用に取り組める機会の創出に努めます。



末吉村跡(スエヨシムラト)遺跡発掘現場



金城大樋川(カナグスクウフヒージャー)

2-(5) 文化に関する学術研究等を推進します

■施策概要

那覇市が所蔵する歴史文化資料をはじめ、これまで出版した「那覇市史」(全 33 巻)や歴史文化に関わる刊行物等の蓄積された成果について、大学機関の専門家をはじめ、民間の研究者及び市民との多様な対話を通し、より多くの市民が本市の歴史・文化財等に関心を高め、市民の共通の財産として文化芸術の継承・発展に寄与するための学術文化の振興を図ります。

■主な取組

ア 文化芸術に関わる調査・研究成果の公開

歴史資料や収蔵資料については、調査・研究成果等の公開を更に充実させ、市民をはじめ次代を担う子どもたちが沖縄の歴史や文化に触れ合い、学び、創造性を育む環境整備に取り組みます。

イ 大学や民間研究者との文化芸術を通じた連携

歴史資料や収蔵資料は、資料の見方や時代背景など誰もが理解し活用できるよう整備する必要があります。

歴史資料や収蔵資料は、活用のあり方や様々な分野との連携により、多様な創造性を生み出す可能性があり、大学や民間の研究者との連携を通し、公民館講座やそれぞれの分野に関心の高い市民へ歴史文化に関わる様々な情報を提供する環境整備に取り組みます。

ウ 文化芸術に関する調査・研究成果の活用

歴史資料や収蔵資料の調査・研究成果については、「なは市民協働大学・大学院」をはじめ、本市の新採用職員、若手芸術家、まちまーいガイド、街角ガイド、案内親方等、まちづくりや文化芸術振興に関わる中核的な人材を対象に行われる学習会や研修において活用されるよう取り組みます。



「玉冠」と「王衣装」の素材の化学調査の様子



那覇市歴史博物館ホームページ（デジタルミュージアムや那覇市内史跡・旧跡案内）で那覇市の歴史などが学べる

3 文化芸術を生かしたまちづくり

■基本的施策

- (1) 文化芸術の持つ社会包摂機能を生かした取組を推進します
- (2) 観光・産業等と文化芸術の連携を図ります
- (3) 亜熱帯の風土を生かしたまちづくりを推進します

3-(1) 文化芸術の持つ社会包摂機能を生かした取組を推進します

■施策概要

文化芸術は、子どもから高齢者まで、障がいのある方や在留外国人など誰もが社会参加の機会をひろく社会的基盤となり得るものであり、昨今、そのような社会包摂(P 5 注釈参照)の機能が注目されています。

社会的課題の解決に資する文化芸術の持つ社会包摂機能の向上を図るため、教育、福祉などと連携・協力する環境づくりを推進します。

■主な取組

ア 教育や福祉との文化芸術を通じた連携

文化芸術と教育分野及び福祉分野が関わる既存施策については、文化芸術がもつ「社会包摂機能」の観点から再評価し、芸術家や実演家などの専門家や既に支援活動を行っている団体との連携のあり方、部署間の施策連携などの取組を検討します。



ジュニアジャズオーケストラで子どもの居場所づくり
(琉球フィルハーモニック主催)

イ「那覇文化芸術劇場なはーと」における社会包摂機能を生かした取組

「那覇文化芸術劇場なはーと」の基本方針では、地域のつながりの醸成や孤立しがちな人々の社会参加の基盤となる交流事業展開を目指すことを役割の一つと定めています。「那覇文化芸術劇場なはーと」において、文化芸術の持つ社会包摂機能を生かした取組を進めます。

3-(2) 観光・産業等と文化芸術の連携を図ります

■施策概要

観光やものづくりなどの産業と文化芸術がもつ潜在力との有機的な連携による波及効果を生み出し、地域活性化に資する環境づくりを進めます。

■主な取組

ア 伝統工芸品の多面的振興

市内では、壺屋焼、首里織、琉球びんがた、琉球漆器、三線等の琉球王国時代から受け継ぐ伝統工芸品が生産されています。伝統工芸品は文化資源としての側面と、ものづくり・地場産業としての側面があり、文化資源の面では、消費者嗜好や価値の多様化から再び文化資源として再評価される時代を迎えつつあります。

那覇市では、那覇市伝統工芸館を拠点に伝統工芸品の展示、体験、販売事業を展開し、伝統文化の継承・発展と伝統工芸産業の振興の両面から支援を行っています。今後の展開については、産業振興施策との連携(情報発信、技術力、商品開発、企画・デザイン等)、文化資源の継

承・発展の面からは各伝統工芸産地組合や国、県、沖縄県立芸術大学等の専門機関や作家、クリエイター、企業等との連携を図り、文化的側面と産業的側面の両方向からの産地形成に向けた環境整備を進めます。



着尺首里花倉織



琉球舞踊衣装



土紋花器



朱漆牡丹唐草箔絵食籠



手捻り土灰掛け玉のり大獅子

イ 観光産業と文化芸術の連携

基幹産業である観光産業と文化芸術資源との連携では、近年、琉球芸能を活用したプロモーション事業が活発化しています。また、映画、音楽など、地域の歴史と文化に根ざすコンテンツビジネスは可能性の高い分野と言われています。

市内では行政や民間企業による観光客向けの夜のエンターテインメントショー(エイサーや獅子舞、三線などの伝統芸能)など、ノンバーバル(非言語コミュニケーション)公演を鑑賞する機会も創出されてきました。

観光産業と文化芸術の連携については、重要な課題となっているプロデュースやマネージメントなど、文化芸術の担う専門的な人材の確保を含め、那覇文化芸術劇場なは一とを中心に、新たな環境整備を図ります。



創作エイサーはノンバーバルのエンターテインメントショーとして国内外で活躍
(提供: Neo Ryukyu)

ウ 体験型・交流型観光の充実

第一牧志公設市場とその周辺エリアが沖縄の「食」を中心とした生活文化を体感し、ぶんかテンプス館では工芸体験や芸能鑑賞、那覇文化芸術劇場などはアートを体感できるまち歩きスポットとするなど、五感を楽しませる体験型・交流型メニューの充実を図り、那覇のまち全体を観光対象とする新たなコンテンツの発掘と情報発信を図ります。



第一牧志公設市場イメージ図

エ 多彩な祭りの深化

那覇市では、多彩な祭りが各地で行われています。中でも、那覇の三大祭り「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」は、重要な観光資源ともなっています。これらの祭りを市民が深く理解し、愛着につながる取組が必要です。

たとえば、「那覇ハーリー」と「泊地バーリー」や「字大嶺の地バーリー」、「那覇大綱挽まつり」と「各地域の綱引き」、「琉球王朝祭り首里」と真和志地域の伝統芸能が演じられる「識名園友遊会」など、地域で演じられている祭りと三大祭りとの違いや繋がりなど、那覇の地域文化の豊かさに支えられた祭り文化を市民で共有し、祭りの歴史的背景などの理解をより深めることにより、更なる魅力の発見に繋がります。

3-(3) 亜熱帯の風土を生かしたまちづくりを推進します

■ 施策概要

かつて那覇は、リュウキュウマツやフクギ、ガジュマルなどの緑にあふれ、丘陵のなだらかな地形や漫湖、那覇港の水辺環境とあいまって、美しい景観を誇っていました。戦災や都市化の進行によって激減したとはいえ、今も市内には、緑地や水辺環境、拝所や湧水、樋川などの文化資源に寄り添う木々、そして赤い屋根瓦、白い石畳、といった当時の歴史文化の面影が残る景観や自然環境が息づいています。

こうした市内に残されている文化資源を活用した都市ブランディングを推進するとともに、自然環境の保全と再生に取り組み、亜熱帯の風土を生かしたまちづくりの推進のための基盤づくりを進めます。

■ 主な取組

ア 文化資源を生かした地域・地区の環境づくり

地域においては、すでに環境と文化資源の再生に取り組んでいる事例も見られます。首里池端町と首里当蔵町では、ごみ捨て場になっていた井戸を整備し、石張りや花壇の整備等の日常管理を近隣住民が行っています。いまでは子どもたちの水遊びの風景が見られ、昔ならではの井戸端会議の空間創出につながっています。

市内には、地域で埋もれている拝所・湧水・井戸等の文化資源は数多く存在し、それぞれ地域特性に配慮した環境と文化資源を生かした地域づくりを推進するための取組を進めます。



壺屋やちむん通りの井戸（アガリヌカー）とガジュマル（第20回景観賞）

イ 文化資源を支える自然環境の保全・啓発

豊かな自然と共に営んできた暮らしの中に新たな文化芸術が創造されます。「第5次那覇市総合計画」をはじめ、「都市計画マスタープラン」、「緑の基本計画」、「環境基本計画」等で示す本市の自然環境に関する方針について、様々な機会を通し情報発信に努めるとともに、亜熱帯の風土の基盤となる自然環境の大切さについて市民共通の財産として理解が深まる取組を推進します。

ウ 亜熱帯の風土を生かした景観づくり

本市の景観づくりへの取組は全国的に早く、「那覇市都市景観条例(1985年制定)」等に基づき、那覇の個性を活かした美しいまちづくりをめざし、市民との協働により推進してきました。その後、景観法の制定を受け、新しい「那覇市都市景観条例」の制定を機に、「那覇市景観計画」、「那覇市景観計画景観ガイドライン」を策定するとともに、首里金城地区、龍潭通り沿線地区、壺屋地区を都市景観形成地域に指定し、重点的に景観形成に取り組んでいます。

また、まち全体で琉球石灰岩のソフトな色合いを感じさせるコーラルホワイトのまちづくりを進めながら、「亜熱帯庭園都市」の景観イメージの実現に向けた取組を行っています。今後、景観づくりに関わる条例、計画及びガイドラインなどの基本的な方向性について、積極的な情報発信を行うことで、市民の景観に対する更なる理解と協力を求めるとともに、敷地内緑化など市民個々の取組につながるよう環境整備を進めます。



白を基調としたまちを彩るホウオウボク

4 多様な文化交流による NAHA の魅力発信

■ 基本的施策

- (1) 広域的な文化交流活動を支援します
- (2) アジア諸国をはじめとする海外との国際交流を促進します
- (3) 文化芸術の国内外への発信力を強化します

4-(1) 広域的な文化交流活動を支援します

■ 施策概要

近隣市町村や周辺島しょとの多様な文化交流を通し、互いの文化芸術を尊重しながら良い影響を与え合う環境づくりを進めます。また、国際情勢が常に変化する中であっても、文化交流を通し、国内外の市民レベルで長年築いてきた姉妹都市・友好都市とのつながりをより一層確かなものとする取組を進めます。

■ 主な取組

ア 近隣市町村との文化芸術を通した連携

県内市町村では、地域に根ざした民俗芸能等の文化資源を活用した地域振興・観光振興の取組が増えています。市民による近隣市町村の集落の綱引きや豊年祭等の視察、相互のイベント出演等の交流を通し、共通の課題の解決へのヒントや地域の誇りを再認識する機会となる環境づくりに関係者と連携して取り組みます。

イ 周辺島しょとの文化芸術を通した連携

周辺島しょは、琉球王国時代のつながりの証である文化資源が数多く現存しています。その文化資源を活用したアート展示やイベントを活用し、持続的な地域振興や観光振興につながる環境整備に関係者と連携して取り組みます。

ウ 姉妹都市等との文化芸術を通した交流

那覇市は、歴史・出稼ぎ・疎開・移民それぞれの背景の絆を踏まえ、福州市(中国・福建省)、宮崎県日南市、神奈川県川崎市、サンピセンテ市(ブラジル・サンパウロ州)、ホノルル市(アメリカ・ハワイ州)と「姉妹都市・友好都市」を結び、国際交流・都市間交流を行っています。また、市民の交流と観光振興の推進を目的に、静岡県静岡市、石川県金沢市と「交流連携都市」を結んでいます。グローバル化が進展する中、草の根的な都市間交流の重要性が増すことから、これまでの文化と平和交流を基軸としつつ、より一層交流の展開を図るため、文化芸術の多様な分野に交流が拡大するよう取り組みます。



沖縄にルーツを持つ海外の沖縄県系人が集う「世界のウチナーンチュ大会」



座間味村から那覇市までの海をわたるサバニ帆漕レース

4-(2) アジア諸国をはじめとする海外との国際交流を促進します

■施策概要

国際化が進展する中で、それぞれの地域の異なる文化と接することは、市民のまちへの愛着や誇りの醸成につながり、子どもたちの将来のためにも意義のあることです。

中長期的な視点を持って、アジア諸国をはじめとした海外との新たな文化芸術を通した国際交流ができる環境づくりを進めます。

■主な取組

ア 海外の芸術団体との文化芸術を通した連携

市内を中心に開催されている国際児童・青少年演劇フェスティバルは、国内外から演劇関係者やパフォーマーが集い、児童・青少年向けの演劇フェスティバルとしてはアジア最大規模です。このような演劇フェスティバル等を「那覇文化芸術劇場なはーと」を拠点に開催し、海外の芸術家・団体との交流の促進や、新たな文化芸術を創出する環境整備に取り組みます。



キリンに扮したスペインのパフォーマー（国際児童・青少年演劇フェスティバル）

イ 国内外の芸術家同士の交流連携

「那覇文化芸術劇場なはーと」を拠点に、芸術家同士の交流連携を図り、また、大学等の専門機関とも連携を図りつつ、中長期的には国際的な共同創造の発信拠点となる環境整備を進めます。

ウ 市内在住外国人との文化芸術を通した交流

市内には、留学等で在住するアジアからの外国人が増加する一方、日常生活支援や災害時の情報共有などが課題となっています。

今後も外国人在住者は増加すると予想されることから、市民相互に理解を深め、創造的な文化的交流が生まれる環境整備に取り組みます。



在沖ネパール人の情報交換や日本とネパールの文化交流を目的に活動をする沖縄ネパール友好協会

4-(3) 文化芸術の国内外への発信力を強化します

■施策概要

情報通信技術の進歩を背景に、その利活用が大きなウエイトを占める時代です。歴史とともに歩んできた那覇独自の文化芸術を国内外へ発信することによって、市民の地元への愛着と誇りを育み、併せて国内外に認知度向上を図ることで、文化芸術の活動及びその資源が持続的に支えられる機会を創出します。また、多様な媒体の活用による情報発信及び情報の集積、集積されたデータの調査・分析による関連分野への活用など、那覇の更なる魅力向上につながる取組を進めます。

■主な取組

ア 魅力ある情報発信

紙媒体の他、インターネット等の多様な媒体を活用し、幅広い世代に向けた魅力あるコンテ

ソツの効果的な発信に努めます。また、海外を含めより多くの人に那覇の文化芸術の情報に触れてもらうため、外国語に対応した情報発信に努めます。

イ 文化芸術情報のアーカイブ活用

祭り、イベント、伝統工芸、伝統芸能、各種アートなど、文化芸術活動に関わる情報発信を行うと同時に、誰もが理解しやすいよう留意しながら、それらの情報についてインターネット等を活用してネットワーク化、アーカイブ化するなど、保存、展示、国内外への発信等を推進します。

【その他の基本的施策】

感染症等による新たな災難や危機的な状況における文化芸術活動

■ 施策概要

新型コロナウイルス感染拡大により、感染から身を守るための「新たな生活様式」が求められています。日常生活においては、在宅勤務や自宅で学校の講義を受けるなど、インターネットを活用した取組が進められています。文化芸術活動においても、無観客ライブの配信や収録した映像の上演など、新たな文化芸術活動が行われています。今後、コロナ感染症に関わらず、文化芸術活動を脅かす危機的な状況においても、文化芸術の灯が途絶えることのないよう支援及び取組を進めます。

■ 主な取組

ア 文化芸術関係者との対話強化

文化芸術に関わる関係者及び専門家等との積極的な意見交換等を通して、新たな創造活動への支援について、あらゆる分野との連携を図り、その支援に取り組みます。

イ 文化芸術活動の危機的な状況に対応した那覇市文化振興基金の活用

文化芸術活動を脅かす危機に対する緊急的な措置として対応できる、那覇市文化振興基金の活用について検討します。